

いまの時代の“新しい紳士”を育成

かいじょう 海城中学高等学校



先生から一言!

男子校で共に過ごした学友は卒業して他の大学に進んでも終生付き合える友だちになります。日本国内でも今や数少ない“男子校”へ是非!

教頭 中田先生

〒169-0072 東京都新宿区大久保3-6-1
<http://www.kaijo.ed.jp/>

自分の意思に基づいてチャレンジする負荷の高い課題では、必ず仲間からのサポートを得ます。人間が勇気をもって何かに挑戦するときは、信頼に裏打ちされた仲間のサポートが大切だということを学ぶのです。

2つ目は、中2・中3次のDE(ドラマエデュケーション)です。これは演劇的手法を取り入れた学習プログラム。生徒たちは、たとえば、班ごとに一人の大人から聞いたエピソードに基づき、班全員でシナリオを書き、ドラマとして演じます。一連の作業を通じて、生徒たちは先ずは他者との異質性に気付き、続いてイメージのすり合わせ・共有の術を学びます。

●課題設定・解決能力の育成
 複雑化した現代社会では、難解な諸問題を解決するため、従来の記憶・暗記型の学力だけではなく、自ら課題を見つけ、調査、熟考し、価値を判断し、選り取った解決策を人に分かり

やすく伝えるといった統合的な問題解決能力が必要不可欠です。そうした力を養成すべく、中1から中3まで、『社会科総合学習』を週2時間で実施しています。レポートのテーマを自ら設定し、企業などへ取材し、文献を調べ、考えをまとめ、発表し、レポートに書くことを毎学期行います。そして中3では、各自が原稿用紙30枚以上の卒業論文を書き上げます。この取り組みは、各所で高い評価を得ています。

グローバル教育の推進
 文部科学省では、2012年度から、「グローバル人材育成推進事業」や「グローバル30」など、大学教育のグローバル化を推進し、世界で活躍できる人材を育成する事業を本格的に開始しています。本校でも、時を同じくして2012年度に「グローバル教育部」を発足。以来、その内容を拡

●英語漬けの合宿
 中2・中3・高1次に、長野県にて、2泊3日で英語漬けの合宿を行います。

●高レベルな海外研修
 中3次にアメリカ、高1

大学入試改革に対応した 中学校選びの大切さ

2013年、政府の教育再生実行会議は、大学入試の改革を柱とした第四次提言を安倍首相に提出しました。改革案の中身は、まずは「達成度テスト(仮称)」の創設。これは、高校在学中に基礎的な教科・科目の学力を測る「基礎」テストと、現行のセンター試験の代りに1点刻みの点数ではなく、段階評価で成績を示す「発展」テストとで構成されます。また、大学ごとの2次試験では、今までのような知識偏重に陥らないよう、面接(意見発表、集団討論など)、論文、高校時代の活動内容(部活動やボランティアなど)などによって、受験者の能力・意欲・適性を多面的・総合的に見る必要があるとされています。つまり、グローバル社会において若者の能力を最大限に引き出すため、大学入試を従来のような暗記・記憶中心のテストではなく、創造性や

政府の提言と合致した 本校の教育内容

本校は、22年前、創立100周年を迎えた翌年の1992年から「教育改革」をスタート。以来、「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神の下、いまの時代に合ったリベラルでフェアな精神を持った「新しい紳士」の育成に努めてきました。本校の考える「国家・社会に有為な人材」とは、一言で言うならば、新しい時代が要請する「人間力と学力のバ

リーダーシップなど多様な能力を判定するものに転換しようというのです。

これらの導入は5、6年後。早ければ小学校高学年、遅くとも小学校中学年の子どもたちが大学入試を受ける頃には、新しい入試が始まります。そのため、これから中学校を探される際は、今後をきちんと見据えた学校かどうか、見極めていく必要があるはずです。

●体験学習の実践

国境を越えて、多様な価値観が介在するグローバル社会において、互いの違いを理解・尊重する「共生能力」、異質な者同士がよいところを引き出しあい、新たな価値を創造する「協働の力」は必須です。そのため本校では、2つの体験学習を導入しています。

1つは、中1・中2次に行うPA(プロジェクトアドベンチャー)。さまざまなアクティビティを通じて人間関係を構築していくプログラムです。与えられたテーマを解決し、良かった点を認め合い、さらによくする話し合いを行う過程で、互いの存在を認め、信頼関係を築いていきます。また、

2014年度 大学合格実績

大学	合格者数
国立大学	40(23)
東京大学	6(3)
京都大学	14(8)
一橋大学	13(11)
国立医学部	38(21)
私立大学	152(85)
早稲田大学	128(83)
慶應義塾大学	1(0)

注: ()は現役

帰国生入試 生徒募集要項

募集人員	男子30名
応募資格	①平成27年3月小学校卒業見込みの方。 ②同居の保護者、または保護者の認める成人のもとから通学できる方。 ③平成21年4月1日から平成27年3月31日までの間に2年以上海外に在住し、かつ、平成24年7月1日以降に帰国した方。 ◇帰国生の受験者は、一般入試①・一般入試②も受験可能です。
出願期間	平成26年12月8日(月)～平成27年1月6日(火) 取扱時間:日・祝を除く、平日午前9時から午後4時まで(土・1/6:正午まで)。ただし、年末年始の休業日(12/28(日)～1/4(日))を除く。郵送は12/19(金)必着。
出願手続	入学願書・受験料振込票・受験票・面接カード 海外生活証明書
試験日	平成27年1月7日(水)
科目	[A方式]算数・国語・社会・理科・面接 [B方式]算数・総合・面接 [C方式]算数・総合・英語・面接※A・B・C方式のいずれかを選択。算数はA・B・C方式共通問題 ※面接はいずれも10分程度、受験生のみ ※面接時に「生活していた国や地域と日本との違いについて2分程度の日本語スピーチあり

お問い合わせ一覧 ▶ P.138